

Pioneer

ミニディスクレコーダー

HTZ-MD7

取扱説明書

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は注意(警告を含む)しなければならぬ内容であることを示しています。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。

図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

安全上のご注意(別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

警告[異常時の処理]



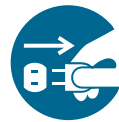
プラグを抜け

万一煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



プラグを抜け

万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け

万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



もくじ

安全に正しくお使いいただくために	2
接続のしかた	4
各部の名称と機能	5
リモコンの基礎知識	6
MDの基礎知識	7
MDを聞く	10
1曲目から順にMDを聞く(本体で操作する場合)	10
1曲目から順にMDを聞く(リモコンで操作する場合)	11
繰り返し演奏する(リピート演奏)	12
順不同に演奏する(ランダム演奏)	12
聞きたい曲を聞きたい順番で聞く(プログラム演奏)	13
CD(DVD)を録音する	14
FM/AM放送を録音する	15
外部機器を録音する	16
外部機器を入力の音に反応させて録音する(シンクロ録音)	17
録音してある曲の途中から録音する	18
モノラル長時間録音の設定	19
デジタルとアナログの録音設定	19
曲番をつけずに録音する	20
ディスプレイユニットの表示内容を切り換える	21
タイマー録音する	22
編集メニューについて	24
曲を移動する(ムーブ機能)	26
曲を並べかえる(プログラムムーブ)	27
1つの曲を2つに分ける(デバインド機能)	27
2つの曲を1つにつなぐ(コンバイン機能)	28
1曲だけ消す(イレース機能)	29
ディスクの全曲消す(オールイレース)	29
曲に名前を付ける(トラックネーム)	30
ディスクに名前を付ける(ディスクネーム)	31
ディスク名や曲名を修正する	32
文字を消すには	32
文字を追加するには	32
文字入力パターン	33
最後に行った編集操作を取り消す(アンドゥ機能)	34
こんな表示が出たときは	35
故障?ちょっと調べてください	36
日ごろのお手入れ	37
アフターサービス	38
仕様	39

準備

再生

録音

編集

その他

接続のしかた

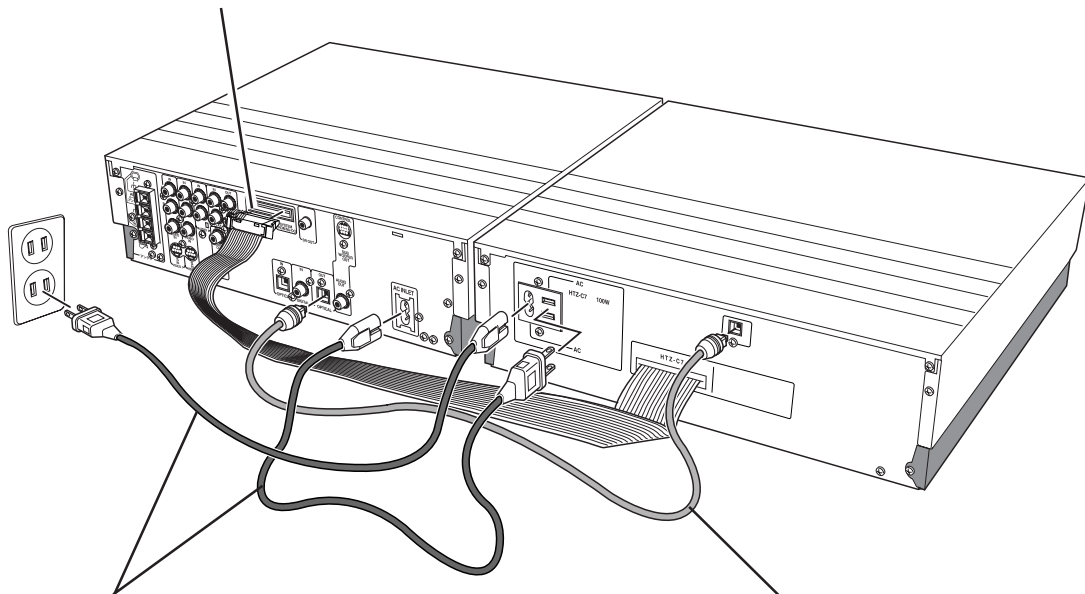
! 接続を行なう場合、あるいは変更を行なう場合には、必ず電源コードを抜いてください。また付属の電源コード以外は使用しないでください。故障の原因になります。

1 フラットケーブルを接続する

本機 MD プレーヤーの裏側から出ているフラットケーブルが下へ出る向きで、DVD センターユニットに差し込む。差し込むときは、カチッと音がするまで確実に差し込んでください。また外すときは、両側から押して引っぱってください。

付属品

- 光ファイバーケーブル 1
- 電源コード 1
- 取扱説明書 1
- 保証書 1



3 最後に電源コードを差し込みます

1. DVD センターユニットの AC インレットに差し込んだ電源コードを、本機 MD プレーヤーの AC アウトレットに差し込みます。
2. 本機 MD プレーヤーの AC インレットに差し込んだ電源コードを、壁のコンセントへ最後に接続します。

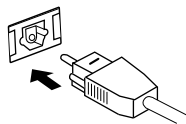
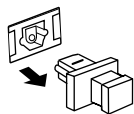
2 光ファイバーケーブルを接続する

DVD センターユニットと本機 MD プレーヤーとを、付属の光ファイバーケーブルで接続する。

光ファイバーケーブルについて

■ 接続のしかた

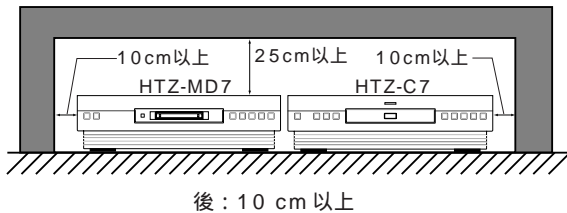
- 1 光デジタル出力端子の防塵キャップを引き抜きます。
- 2 光ファイバーケーブルのプラグを、端子の形に合わせ奥までしっかり差し込みます。



防塵キャップは、なくさないように大切に保管してください。

設置上のご注意

機器の天面や側面、または放熱孔はふさがないように設置してください。また、壁からは下図の距離だけ離してください。機器の底面には吸気孔があるため、毛足の長い敷物などでふさがないように設置してください。

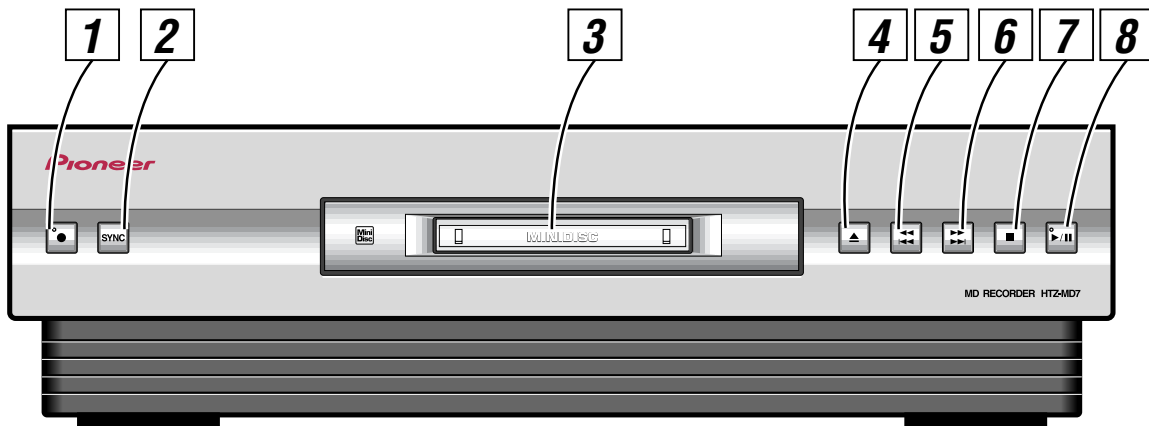


注意：
光ファイバーケーブルが折れ曲がらないように、ご注意ください。

各部の名称と機能

パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、本書及び別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」及び「安全上のご注意」は「保証書」「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に保管してください。



準備

- 1 録音(●)ボタン & インジケータ**
MDに録音をするときに使用します。
録音中、または、録音一時停止中にインジケータが点灯します。
- 2 シンクロ(SYNC)ボタン**
シンクロ録音 [R17] のときに使用します。
- 3 MD 挿入部**
MDを挿入する部分です。
- 4 イジェクト(▲)ボタン**
MDを取り出すときに使用します。
- 5 早戻し(◀◀)/ 頭出し(◀◀)ボタン**
早戻し(◀◀)ボタン：演奏中に早戻しをするときに使用します。
頭出し(◀◀)ボタン：戻る方向へ曲の頭出しをするときに使用します。
- 6 早送り(▶▶)/ 頭出し(▶▶)ボタン**
早送り(▶▶)ボタン：演奏中に早送りをするときに使用します。
頭出し(▶▶)ボタン：進む方向へ曲の頭出しをするときに使用します。
- 7 停止(■)ボタン**
演奏を停止するときに使用します
- 8 再生/一時停止(▶||)ボタン&インジケータ**
演奏したり、演奏を一時停止状態にするときに使用します。一時停止中にインジケータが点灯します。

電源コンセント(AC OUTLET)へのつなぎ方

リアパネル部にある電源コンセントには、100Wまでの製品を接続することができます。DVDセンターユニットを接続してお使いになると大変便利です。

⚠ 注意

接続する機器の消費電力について

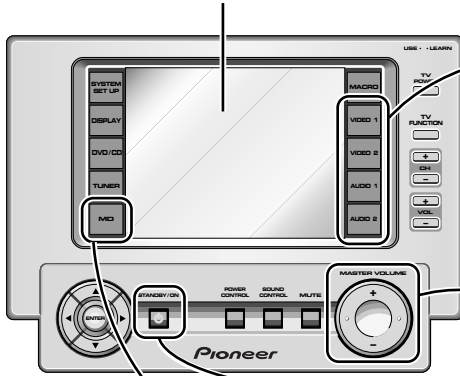
- 消費電力がパネルに表示されているWの数値をこえる電気機器（トースター、ドライヤーなど）は、絶対につながないでください。機器の故障や火災の恐れがあります。
- テレビやモニターは表示されている消費電力値が許容値より少なくても、電源を入れたときに大きな電流が流れて、許容値をこえる場合がありますので、絶対に接続しないでください。機器の故障や火災の恐れがあります。

■ 電源コンセント UNSWITCHED (スイッチ非連動 100W 以下)

- 接続した機器につねに電源を供給します。（接続した機器の電源スイッチでON-OFF切換えをしてください）
- 接続する機器の消費電力の合計が100Wをこえないように注意してください。

リモコンの基礎知識

液晶表示部およびタッチパネル



● **ファンクションボタン**
DVDセンターユニットの各端子（VIDEO1、VIDEO2、AUDIO1、AUDIO2）に接続した機器の演奏を、HTZ-7にて聞いたり録音したりするときに使用します。

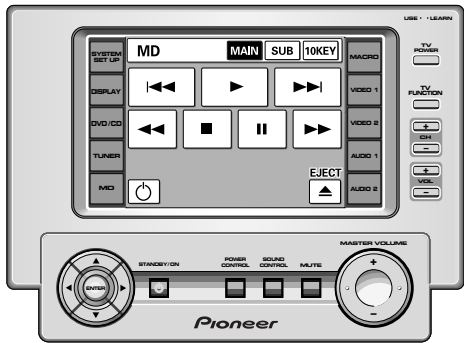
DVDセンターユニットの光デジタルインに接続した機器の演奏を聞く（録音）場合は、VIDEO1を選択し、同軸デジタルインに接続した機器の演奏を聞く（録音）場合は、VIDEO2を選択します。

● **MASTER VOLUMEボタン**
システム全体の音量をかえます。

● **STANDBY/ONボタン**
電源を入れたり切ったりします。

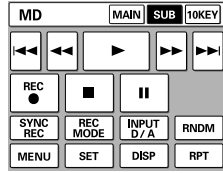
● **MDボタン**
MDの操作画面を液晶表示部に表示させます。基本的に本機の各操作は、MDボタンを押してMDの操作画面を表示してからタッチパネルで行なうことになります。

液晶表示部およびタッチパネルの画面について



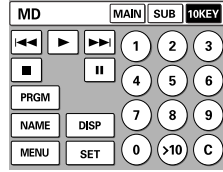
● **MDサブ画面**
SUB を押す
MAIN を押す
10KEY を押す
MAIN を押す

● MDサブ画面



ランダム演奏 [P.12]、リピート演奏 [P.12]、または、録音に関する機能を使用する場合は、このサブ画面にして操作すると便利です。

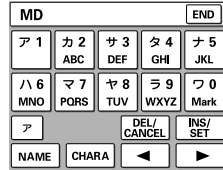
● MD10キー画面



プログラム演奏 [P.13]、ダイレクト選曲 [P.11]、または、編集作業を行なう場合は、この10キー画面にして操作すると便利です。

NAME を押す
END を押す

● MD名前画面



ディスク名前機能 [P.31]、または、トラック名前機能 [P.30] を使用する場合は、この名前画面にして操作すると便利です。

リモコンは、ディスプレイユニットに向けて操作してください。また、操作可能範囲はリモコン受光部との距離が約7m、角度が左右約30度までです。

MDの基礎知識

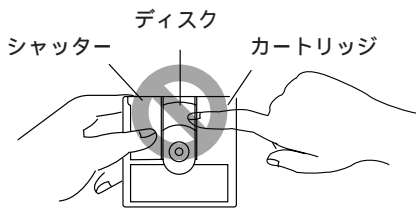
MDの取り扱いかた

右記マークのついたディスクをお使いください。



⚠ 注意

- ディスクに直接触れないでください。
- シャッターを無理に開けるとこわれます。
- 分解しないでください。



[保管]

ケースに入れて保管してください。

次のようなところには保管しないでください。

- 高温多湿の場所
- 直射日光が当たる場所
- 砂やホコリの入りやすい場所

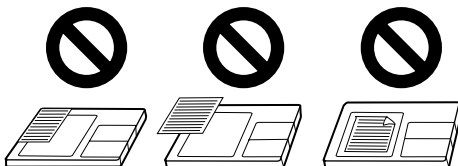
[カートリッジのお手入れ]

乾いた布でホコリや汚れを軽くふき取ってください。

[ラベルの貼付けについて]

以下のことをお守りください。正しく貼られていない場合、MDが取出せなくなることがあります。

- 指定の場所（エリア内）に貼ってください。
- 重ねて貼付けしないでください。
- ラベルが浮いたり、めくれたりしたら新しいラベルに貼りかえてください。



MDの種類について

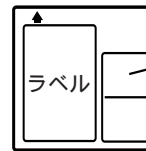
再生専用と録音・再生用があります。

- 再生専用 MD（録音はできません）



シャッターが裏面にあります。

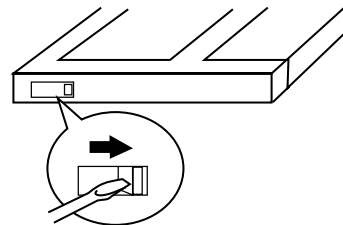
- 録音・再生用 MD



シャッターが両面にあります。

録音したMDを誤削除しないために

側面にある誤削除防止つまみを開けると録音できなくなります。



再び録音や編集をしたいときは、つまみを閉じます。



注意

次のようなときは録音できません

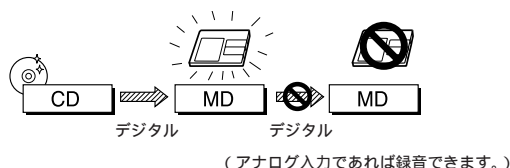
- MDの録音可能時間が残っていないとき。
- “TOC FULL”が表示されたとき。
- TOCが異常なとき。

UTOCの記録中（“TOC WRITE”点滅中）に、電源スイッチを切ったり、電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。UTOCが正しく記録されず、正しい再生ができなくなることがあります。

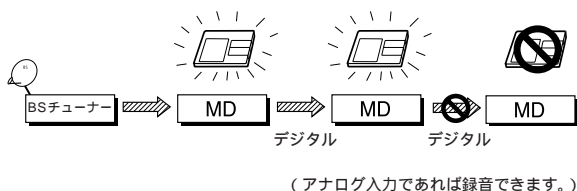
デジタルコピーに関するご注意

デジタル入力で録音したものを、さらに別のMDやDATなどにデジタル録音(コピー)することはできません。これは、SCMSにより定められているためです。SCMSとは、シリアルコピーマネージメントシステム(Serial Copy Management System)の略で、デジタル信号による録音を「何世代まで」と規制している方式です。ソースによって異なりますが、オリジナルのソースから少なくとも一世代はデジタル信号で録音できます。

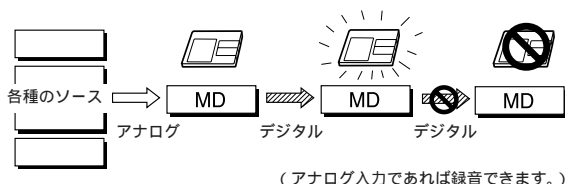
1. 著作権のあるCDやDATミュージックテープは一世代だけデジタル録音できます。



2. 衛星放送のデジタル信号は二世代までデジタル録音することができます。



3. アナログ入力で録音されたディスクは、録音元のソースに係わらず一世代まで録音することができます。



TOCとUTOCについて

MDには、曲番や演奏時間、曲名などのディスクや曲の情報も記録されています。これをTOC(Table of Contents)といいます。特に書き換えが可能なTOCのことを、UTOC(User Table of Contents)といい、本機ではディスクを取り出すとき、またはリモコンでスタンバイ状態にしたときにUTOCの書き換えを行っています。UTOCの書き換え中は、本体表示部に「TOC WRITE」と表示されます。

デジタル録音について

本機のデジタル録音のサンプリング周波数は44.1kHzです。他のサンプリング周波数の機器(BS/CSチューナー、DVD、DATの一部)でも32kHz、48kHzでのサンプリング周波数であれば自動的にその周波数に切り換わり、デジタル録音することができます。なお、DVDなどでデジタルコピーが禁止されている場合には、サンプリング周波数を変換してもデジタル録音はできません。また、本機では96kHzのサンプリング周波数は変換できません。このような場合にはアナログ録音に切り換えてください。


MD録音とテープ録音のちがい

- MDは片面だけの録音です。
- 録音できる場所を自動的に探して録音します。
- 録音の前に録音できる時間の残りが確認できます。


曲番号について

録音すると自動的に曲番がつけられます。追加録音するたびに曲番が順に大きくなります。

デジタル録音時

- CDやMDからの録音は、もとのCDやMDの曲番と同じところに1曲ごとの曲番が自動的につきます。ただし、もとのCDやMDの曲番号と録音されたMDの曲番号とが一致しないことがあります。
- 外部デジタル機器からの録音(CDやMD以外の機器)はアナログ録音と同様にオートマーク機能  が働きます。

アナログ録音時

- オートマーク機能  が働きます。ただし雑音があるときなど、録音の内容によっては正しい位置につかないこともあります。

録音中に停電すると

何も録音されていないMDへの録音中に、電源スイッチを切ったり電源コンセントが抜けたり停電があった場合は、速やかに電源を入れ直してください。そのままの状態ですら約1週間放置された場合は、その時の録音内容は全て消えてしまいます。すでに録音しているMDに追加して録音していた場合は、追加していた部分が消えてしまいます。

注意

録音終了後は必ずディスクを取り出してから、電源スイッチを切ってください。(ディスクを取り出す時に UTOC が記録されます。)

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問い合わせ先：(社)私的録音補償金管理協会


電話 03-5353-0336

FAX 03-5353-0337

本機はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

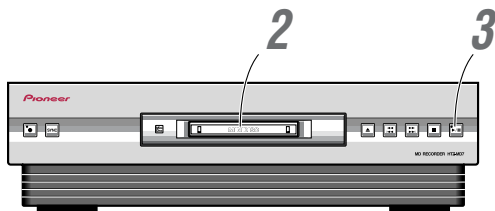
MDのシステム上の制約

MDは従来のカセットテープやDATとは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがあります。これらは、システム上の制約によるものですので、故障ではありません。

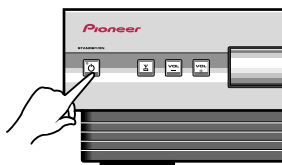
症状	システム上の制約
MDが最大曲数(255曲)になっていないのに“TOC FULL”が表示されることがある。	MDでは、UTOCにMD上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音したり、編集をくり返したりすると、曲数が最大(255曲)になっていなくても、UTOCの情報がいっぱいになるので、録音できなくなります。 (このようなMDは、1曲イレース、または全曲イレース機能  を使って消去を行えば、録音できるようになります。)
MDの最大録音時間になっていないのに、“DISC FULL”が表示されることがある。	ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音できなくなるため録音時間が少なくなります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。	録音残り時間を表示するとき、12秒以下の短い曲などは曲として数えられないことがあるためです。
MDに録音した時間と録音の残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。	通常は、1クラスタ(約2秒)を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約2秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。また、MDにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。 (録音中に“DEFECT”と表示され、MDの曲番が自動的に増えます。)
編集で曲と曲をつなげないことがある。	録音・編集をくり返して行なったMDでは、コンバイン機能を使えないことがあります。また、以下の場合も曲と曲をつなげることができません。 ・デジタル入力から録音した曲(CDやMDなど)と、アナログ入力から録音した曲。 ・ステレオ録音した曲と、モノラルで長時間録音した曲。
録音された曲を早戻し/早送りすると、音がぎれることがある。	録音・編集をくり返して行なったMDでは、早戻し/早送り中に音がぎれることがあります。

MD を聞く

1 曲目から順に MD を聞く (本体で操作する場合)

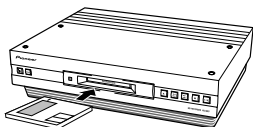


1 DVDセンターユニットのSTANDBY/ONボタンを押す



DVDセンターユニットのSTANDBYインジケータが消灯し、電源が入ります。

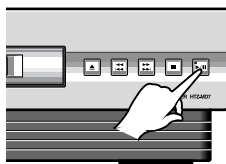
2 MDを入れる



ラベルを上にして矢印の方向へ水平にゆっくり入れます。

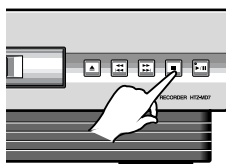
再生専用MDの場合は、再生をはじめます。録音・再生用MDでは、MD側面の誤消去防止つまみが開いているときに再生をはじめます。

3 [▶/||]を押す



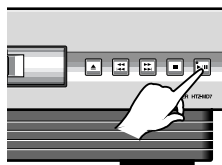
再生専用のMDまたは曲名が入力された録音再生用MDの場合は、曲のタイトルがスクロール表示されます。タイトルが入力されていないMDの場合は、"NO NAME"と表示されます。

演奏を止めるには



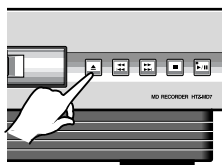
[■]を押す。

演奏を一時停止するには



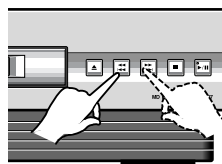
[▶/||]を押す。再び演奏を再開するにはもう一度[▶/||]を押します。

MDを取り出すには



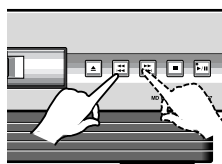
[▲]を押す。

曲の頭出しをする



[◀◀ ◀◀]または[▶▶ ▶▶]を短く押す。押した回数だけ曲を飛び越します。[▶▶ ▶▶▶▶]を押すと次の曲に進み、[◀◀ ◀◀]を押すと前の曲に戻ります。

早送り・早戻しをする



早戻しするには、演奏中に[◀◀ ◀◀]を押し続けます。早送りするには、演奏中に[▶▶ ▶▶]を押し続けます。

注意

再生する前にディスクの最初に記録されているTOC情報を読みとりますので、その間は音が出ません。

電源を入れた後に、すぐにディスクを挿入しても引き込まれません。"NO DISC"表示になってから挿入してください。

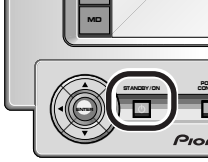
演奏中に[◀◀]を1回押すと、演奏している曲のはじめに戻ります。

MD を聞く

1 曲目から順に MD を聞く (リモコンで操作する場合)

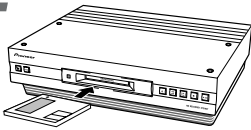
10 ページの「本体で操作する場合」の注意文もあわせてお読みください。

1 STANDBY/ON ボタンを押す



本体の STANDBY インジケータが消灯し、電源が入ります。

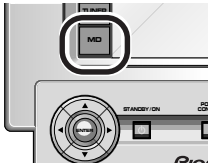
2 MD を入れる



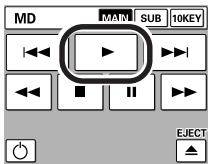
ラベルを上にして矢印の方向へ水平にゆっくり入れます。

再生専用 MD の場合は、再生をはじめます。録音・再生用 MD では、MD 側面の誤消去防止つまみが開いているときに再生をはじめます。

3 MD ボタンを押す

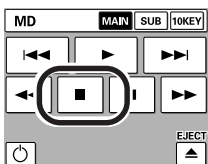


4 [▶] を押す



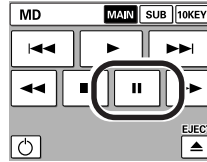
再生専用の MD または曲名が入力された録音再生用 MD の場合は、曲のタイトルがスクロール表示されます。タイトルが入力されていない MD の場合は、"NO NAME" と表示されます。

演奏を止めるには



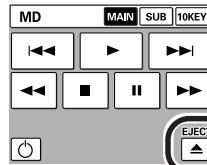
[■] を押す。

演奏を一時停止するには



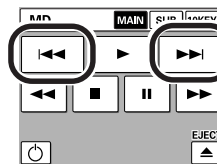
[||] を押す。
再び演奏を再開するには、[▶] を押します。

MD を取り出すには



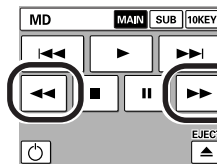
[▲] を押す。

曲の頭出しをする



[|◀◀] または [▶▶] を押す。
押した回数だけ曲を飛び越します。[▶▶] を押すと次の曲に進み、[|◀◀] を押すと前の曲に戻ります。

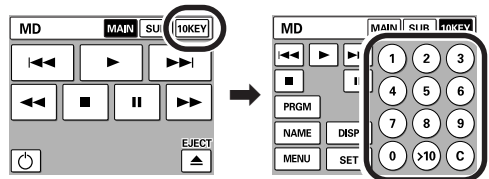
早送り・早戻しをする



早戻しするには、演奏中に [◀◀] を押し続けます。早送りするには、演奏中に [▶▶] を押し続けます。

聞きたい曲を選ぶ (ダイレクト選曲)

[10KEY] を押して、数字ボタンで直接曲を選ぶ。



曲番号が 1 ~ 9 : 曲番号と同じ数字を押す

曲番号が 10 以上 : ◻10 を押してから番号を選ぶ

例) 10 曲目 ◻10 1 0

32 曲目 ◻10 3 2

繰り返し演奏する (リピート演奏)

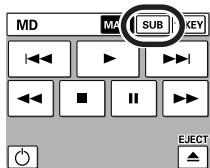
1曲だけの繰り返しと、ディスク全曲の繰り返しがあります。

1 MD ボタンを押す



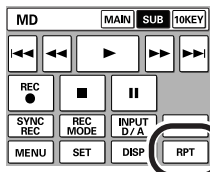
MDのメイン画面が表示されます。

2 [SUB]を押す

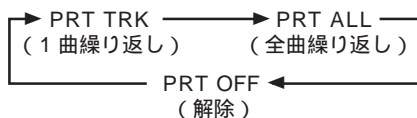


MDのサブ画面が表示されます。

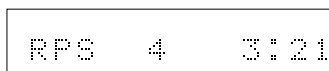
3 [PRT]を押す



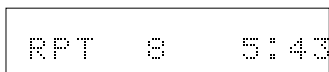
押すごとに、以下のよう
に切り変わります。



1曲繰り返し(PRT TRK)



全曲繰り返し(PRT ALL)



メモ

PRT OFF を選ぶと、リピート演奏を解除します。
1曲リピート中に[◀◀]または[▶▶]を押して別の曲
に移動したときは、移った先の曲を繰り返し演奏
します。

順不同に演奏する (ランダム演奏)

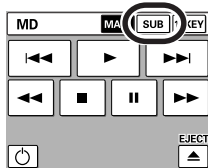
MDの全曲を無作為(ランダム)に並べ変えて、1回ずつ
演奏します。

1 MD ボタンを押す



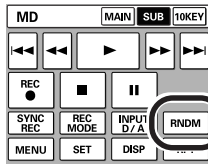
MDのメイン画面が表示
されます。

2 [SUB]を押す



MDのサブ画面が表示さ
れます。

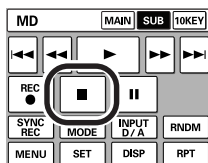
3 [RNDM]を押す



ランダム演奏を開始しま
す。

RDM 4 3:21

ランダム演奏を解除するには

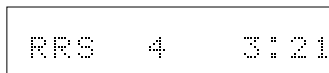


[■]を押す。

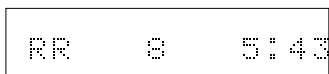
ランダム中にリピートを選ぶ

ランダム演奏を繰り返します。(ランダムリピート)

- ランダム 1 曲リピート



- ランダム全曲リピート



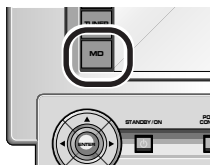
メモ

ランダム演奏中に[▶▶]を押すと、演奏中の曲を中
止して別の曲を選んで演奏します。

聞きたい曲を聞きたい順番で聞く (プログラム演奏)

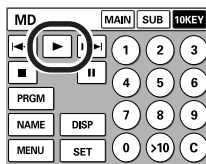
- 24 ステップまでプログラムできます。
- 例) 7 曲目、12 曲目の順にプログラムする

1 停止中に MD ボタンを押す

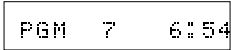


MD のメイン画面が表示されます。

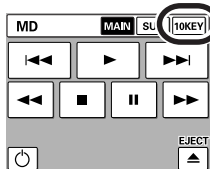
7 [▶]を押す



登録した順にプログラム演奏します。

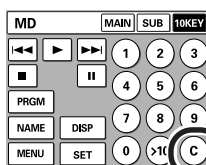


2 [10KEY]を押す



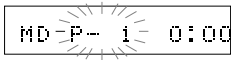
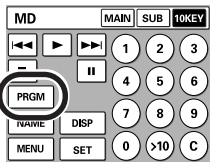
MD の 10 キー画面が表示されます。

曲番を間違えたときには



停止中に[C]を押します。押すごとに最後に登録した曲から消えていきます。

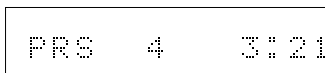
3 [PRGM]を押す



プログラム中にリピートを選ぶ

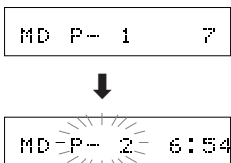
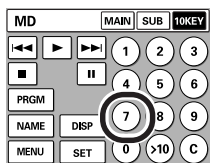
プログラム演奏を繰り返します。(プログラムリピート)

- プログラム 1 曲リピート



4 ⑦を押して7 曲目を登録する

登録したい曲と同じ番号の数字を押します。

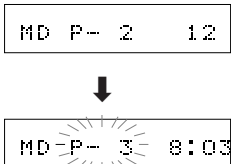
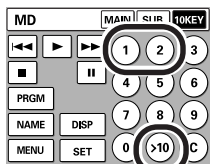


- プログラム全曲リピート



5 12 曲目を登録する

[>10]=[1]=[2] の順で押します。



6 手順 4 または手順 5 を繰り返して他の曲も登録する

注意

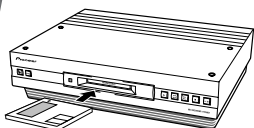
登録したプログラム数が 24 曲を越えたときは「PGM FULL」と表示されます。演奏一時停止状態をプログラムすることはできません。プログラムした内容を取り消すには、演奏中に[■]を 2 回押す、または停止中に[■]を 1 回だけ押す、MD を取り出す、電源を切るの操作をしてください。プログラム内容を確認するには、停止中に[◀◀]または[▶▶]を押してください。押すごとにプログラムした内容が表示されます。

再生

CD (DVD) を録音する

MD では、自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。

1 MD を入れる



ラベルを上にして矢印の方向へ水平にゆっくり入れます。

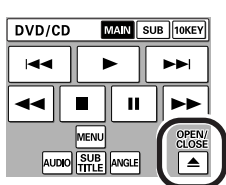
誤消去防止状態の MD には録音できません。

2 DVD ボタンを押す



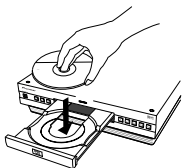
DVD のメイン画面が表示されます。

3 [OPEN/CLOSE ▲]を押す



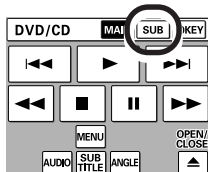
DVD センターユニットのトレイが開きます。

4 トレイにディスクを置く



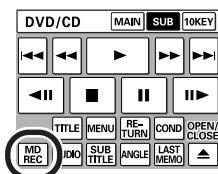
レーベル面を上にして、録音したいディスクをトレイのガイドに合わせて置きます。その後、[OPEN/CLOSE ▲]を押してトレイを閉めます。

5 [SUB]を押す



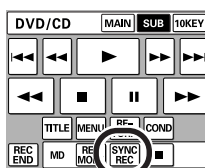
DVD のサブ画面が表示されます。

6 [MD REC]を押す



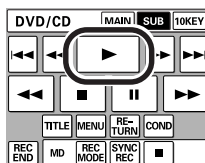
MD の録音メニューが表示されます。

7 [SYNC REC]を押す



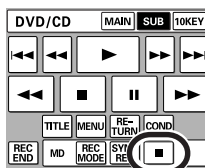
録音の待機状態になります。

8 [▶]を押す



CD または DVD が再生され、MD の録音が始まります。

録音を停止するには



録音メニューの[■]を押す。

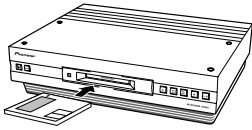
注意

DVD は制作者側の意図により、ディスクによってはデジタル録音を禁止しています。このようなディスクをデジタル録音しようとする時、「CAN'T COPY」と表示されます。この場合はアナログ録音に切り替えてください。P.19「デジタルとアナログの録音設定」を参照。録音したい曲の音量を検知して、自動的に録音を開始したり一時停止したりします。4秒以上無音部分が続きと録音は一時停止状態になり、再び録音が始まると自動的に録音を開始します。録音レベルは自動で調整されます。

FM/AM 放送を録音する

MD では、自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。

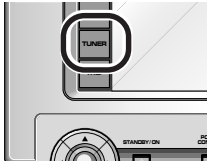
1 MD を入れる



ラベルを上にして矢印の方向へ水平にゆっくり入れます。

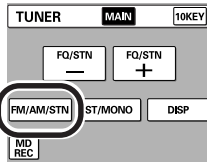
誤消去防止状態の MD には録音できません。

2 TUNER ボタンを押す



チューナーのメイン画面が表示されます。

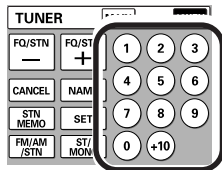
3 [FM/AM/STN] を押す



FM → AM → STN

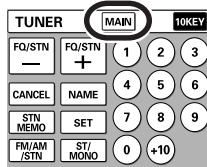
押すごとに切り変わります。STN を選択してください。

4 録音したい放送局を選ぶ



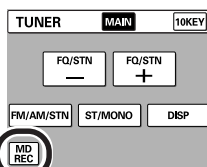
放送局の記憶のしかたや選局の詳しい方法は、「HTZ-7」付属の取扱説明書をご覧ください。

5 [MAIN] を押す



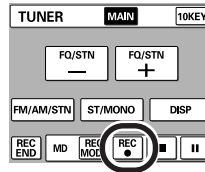
チューナーのメイン画面に戻ります。

6 [MD REC] を押す



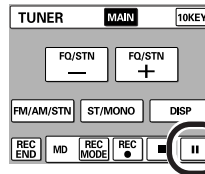
MD の録音メニューが表示されます。

7 [REC ●] を押す



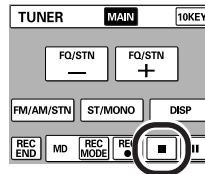
録音一時停止状態になります。

8 [||] を押す



録音が始まります。もう一度押すと、録音一時停止になります。

録音を停止するには



録音メニューの[■]を押す。

メモ

録音中に録音ボタンを押すと、そこから曲番を1つ増やして別の曲として録音します。

注意

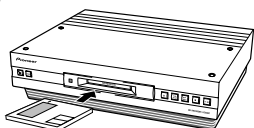
録音レベルは自動で調整されます。

外部機器を録音する

DVD センターユニットに接続した外部機器を録音することができます。

モノラル長時間録音、およびデジタル録音とアナログ録音の設定は、19 ページを参照してはじめに設定してください。

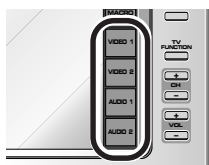
1 MD を入れる



ラベルを上にして矢印の方向へ水平にゆっくり入れます。

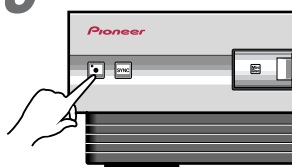
誤消去防止状態の MD には録音できません。

2 録音したい外部機器を選ぶ



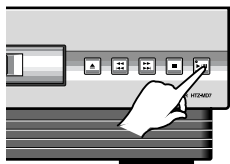
DVD センターユニットに接続した端子と同じ名前のボタンを押します。デジタルで録音する場合は注意が必要です。メモをご覧ください。

3 停止中に録音(●)ボタンを押す



録音(●)ファンクションキーが点灯します。

4 再生 / 一時停止(▶/⏸)ボタンを押す

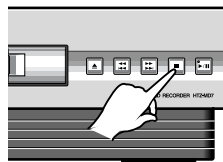


録音が始まります。録音したい外部機器の準備ができていることを確認してから、[▶/⏸]を押してください。

5 録音したい外部機器の再生を開始する

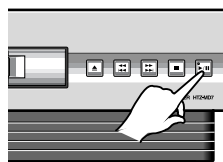
録音を停止するには

停止(■)ボタンを押す



録音を一時停止するには

再生 / 一時停止(▶/⏸)ボタンを押す



メモ

光デジタル端子に接続した機器を録音する場合の外部機器の選択は、[VIDEO 1]を選択してください。

デジタルの同軸端子に接続した機器を録音する場合の外部機器の選択は、[VIDEO 2]を選択してください。

デジタル端子に接続した機器を録音するときは、19 ページでデジタル録音を選択してください。録音中に録音ボタンを押すと、そこから曲番を1つ増やして別の曲として録音します。

注意

録音レベルは自動で調整されます。MD では、自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。録音中にはファンクションの切り替えはできません。(録音一時停止にすれば可能です。)

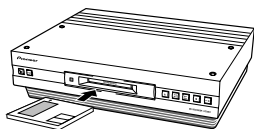
外部機器を入力音に反応させて録音する(シンクロ録音)

DVD センターユニットに接続した外部機器の音量を検知して自動的に録音することができます。

1 曲だけを自動的に録音し演奏が終わると自動的に録音を停止する 1 曲シンクロ録音と、全曲が終わるまでシンクロ録音を繰り返す全曲シンクロ録音とがあります。

モノラル長時間録音、およびデジタル録音とアナログ録音の設定は、19 ページを参照してはじめに設定してください。

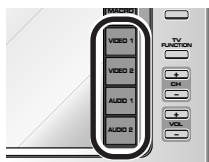
1 MD を入れる



ラベルを上にして矢印の方向へ水平にゆっくり入れます。

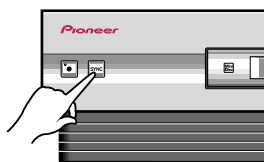
誤消去防止状態の MD には録音できません。

2 録音したい外部機器を選ぶ

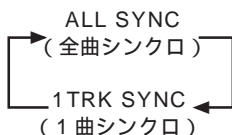


DVD センターユニットに接続した端子と同じ名前のボタンを押します。デジタルで録音する場合は注意が必要です。メモをご覧ください。

3 停止中に全曲シンクロ録音が 1 曲シンクロ録音かを選ぶ



シンクロ(SYNC)ボタンを押すごとに切り替わります。



4 録音したい外部機器の再生を開始する

音が出ると同時に録音をはじめます。

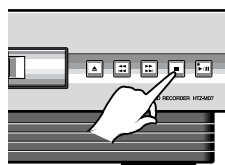
全曲シンクロ録音は、4 秒以上無音部分が続くと録音を一時停止状態にし、再び演奏がはじまると録音を再開します。

1 曲シンクロ録音は、4 秒以上無音部分が続くとシンクロ録音を終了し、停止状態にします。

本機ではシンクロ録音時に一時停止状態のまま約 30 分経過すると、MD 保護のために停止状態になりシンクロ録音は解除されます。

シンクロ録音を停止するには

停止(■)ボタンを押す



メモ

光デジタル端子に接続した機器を録音する場合の外部機器の選択は、[VIDEO 1]を選択してください。

デジタルの同軸端子に接続した機器を録音する場合の外部機器の選択は、[VIDEO 2]を選択してください。

デジタル端子に接続した機器を録音するときは、19 ページでデジタル録音を選択してください。

注意

録音レベルは自動で調整されます。

MD では、自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。

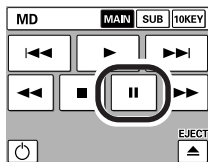
シンクロ録音中、または一時停止中に MD 本体の再生/一時停止(▶/■)ボタンを押すとシンクロ録音を解除して、通常録音あるいは録音一時停止になります。

録音してある曲の途中から録音する

すでに録音されている曲の途中から録音します。この場合、新たに録音を始めた位置以降の曲はすべて消えてしまいますのでご注意ください。

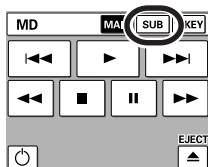
モノラル長時間録音、およびデジタル録音とアナログ録音の設定は、19 ページを参照してはじめに設定してください。

1 MD 再生中に、新たに録音を始めたい位置で [II] を押す



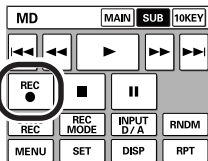
再生一時停止状態になります。

2 [SUB] を押す



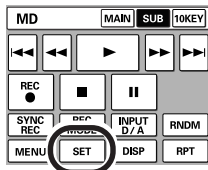
MD のサブ画面が表示されます。

3 [REC ●] を押す



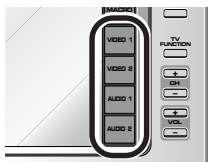
録音を取り消すには、停止ボタン [■] を押す。

4 [SET] を押す



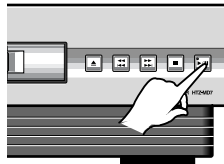
録音一時停止状態になります。
注意：
[SET] を押した時点で、その位置以降の曲はすべて消去されます。

5 録音したい外部機器を選ぶ



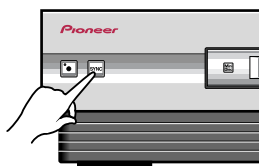
DVD センターユニットに接続した端子と同じ名前のボタンを押します。デジタルで録音する場合は注意が必要です。メモをご覧ください。

6 再生 / 一時停止 (▶/II) ボタンを押す



録音が始まります。

シンクロ録音をする場合は、シンクロ (SYNC) ボタンを押す

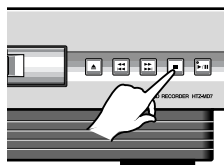


シンクロ録音については、P.17「外部機器を入力の音に反応させて録音する(シンクロ録音)」を参照してください。

7 録音したい外部機器の再生を開始する

録音を停止するには

停止 [■] ボタンを押す



メモ

光デジタル端子に接続した機器を録音する場合の外部機器の選択は、[VIDEO 1] を選択してください。
デジタルの同軸端子に接続した機器を録音する場合の外部機器の選択は、[VIDEO 2] を選択してください。
デジタル端子に接続した機器を録音するときは、19 ページでデジタル録音を選択してください。

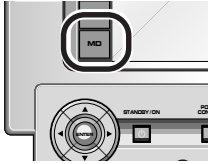
注意

録音レベルは自動で調整されます。
誤消去防止つまみが閉じている MD には録音できません。

モノラル長時間録音の設定

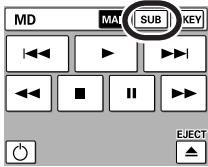
モノラルで録音の場合、ステレオ録音の約2倍の時間の録音ができます。モノラル演奏の曲やトーク中心の番組などの録音に便利です。

1 MD ボタンを押す



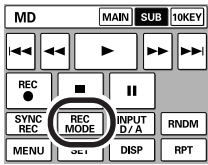
MDのメイン画面が表示されます。

2 [SUB]を押す

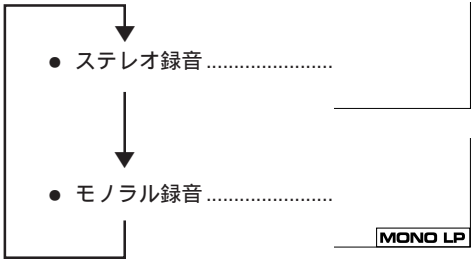


MDのサブ画面が表示されます。

3 [REC MODE]を押す



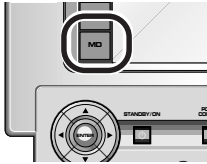
押すごとに、ステレオ録音とモノラル録音が切り変わります。



デジタルとアナログの録音設定

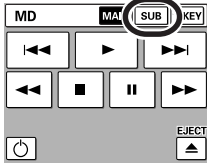
デジタル録音とアナログ録音を設定します。

1 MD ボタンを押す



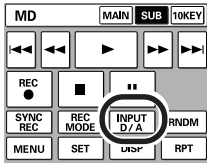
MDのメイン画面が表示されます。

2 [SUB]を押す

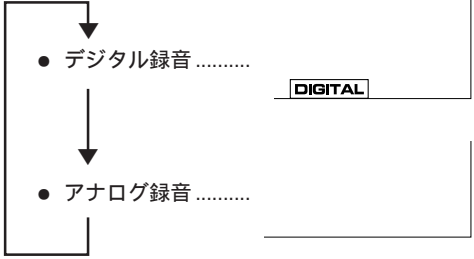


MDのサブ画面が表示されます。

3 [INPUT]を押す



押すごとに、デジタル録音とアナログ録音が切り変わります。



録音

注意

録音モードは次に変更するまで変わりませんので、モノラルで録音した後はステレオ録音に切り換えておくことをおすすめします。

曲番をつけなくて録音する

DVD (CD)や MD 以外の機器をデジタル録音する場合、または、アナログ録音する場合において、録音している曲に 1.5 秒以上の無音部分があると、自動的に曲番をつけます。この機能のことをオートマーク機能といいます。

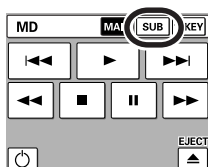
本機ではアナログ録音、または DVD (CD)、MD 以外のデジタル録音のときに、オートマーク機能をオフにて 1 回の録音をひとつづきの 1 曲として録音することができます。

1 MD ボタンを押す



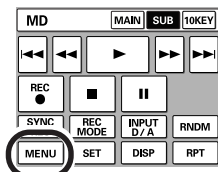
MD のメイン画面が表示されます。

2 [SUB]を押す

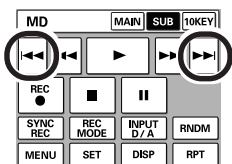


MD のサブ画面が表示されます。

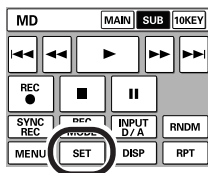
3 [MENU]を押す



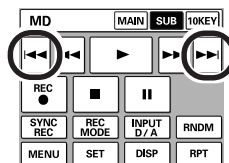
4 [◀◀]または[▶▶]を押して、「AUTO MARK」を選ぶ



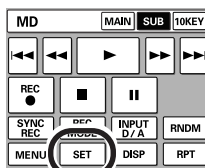
5 [SET]を押す



6 [◀◀]または[▶▶]を押して、「MARK OFF?」を選ぶ



7 [SET]を押す



ディスプレイユニットから ▶ が消灯します。

注意

オートマーク機能の切り換えは、停止中だけの操作となります。

初期状態ではオートマーク機能はオンになっています

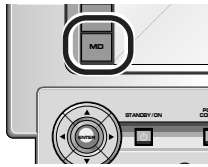
DVD (CD)ときはオートマーク機能はオフになります。ただし、DVD (CD)のときでもアナログ録音を選択 (P.19) したときはオンになります。

オートマーク機能のオン、オフは次に変更するまで変わりません。オートマーク機能をオフにして録音した後は、オートマーク機能をオンに戻しておくことをおすすめします。

この場合は、手順 6 で "ON" を選びます。

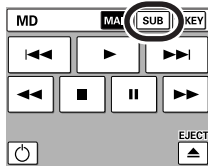
ディスプレイユニットの表示内容を切り換える

1 MD ボタンを押す



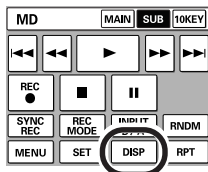
MD のメイン画面が表示されます。

2 [SUB]を押す



MD のサブ画面が表示されます。

3 [DISP]を押す



各モードにおいて、押すごとに内容が切り換わります。

演奏中の表示

- ① 演奏曲名のスクロール表示 *
- ↓
- ② 演奏曲番、演奏曲の演奏経過時間
- ↓
- ③ 演奏曲番、演奏曲の演奏残り時間
- ↓
- ④ ディスクの残り時間
- ↓
- ① に戻る

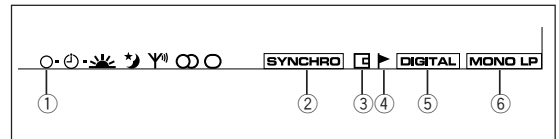
* ディスク名や曲名がついていない場合は、3秒間「NO NAME」と表示した後、次の②に切り換わります。

停止中の表示

- ① ディスク名のスクロール表示 *
- ↓
- ② ディスクの総曲数、総演奏時間
- ↓
- ③ ディスクの録音曲番と録音残り時間
(録音可能な MD を使用している場合)
- ↓
- ① に戻る

ディスプレイユニットの名称と機能

ここでは、MD に関する名称の説明だけを行いません。それ以外の名称につきましては、応用編 P.115 「各部の名称と機能」をご覧ください。



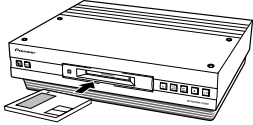
- ① 録音タイマー
タイマー録音を設定すると点灯します。(P.22 参照)
- ② SYNCHRO
シンクロ録音を設定すると点灯します。(P.17 参照)
- ③ MD 録音
MD 録音中に点灯し、録音一時停止中に点滅します。(P.14 ~ P.16 参照)
- ④ オートマーク
オートマークがオンに設定されているとき点灯します。(P.20 参照)
- ⑤ MD デジタル入力
デジタル録音を設定すると点灯します。(P.19 参照)
- ⑥ MONO LP
長時間モノラル録音を設定すると点灯します。(P.19 参照)

タイマー録音する

決めた時刻に、録音の予約をすることができます。

HTZ-7において、時刻の設定をしていないと利用できません。(HTZ-7 付属の取扱説明書 / 応用編 P.96 「時刻を合わせる」を参照してください。)

1 MDを入れる



ラベルを上にして矢印の方向へ水平にゆっくり入れます。

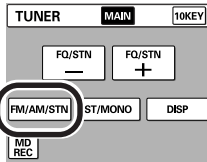
誤消去防止状態のMDには録音できません。

2 TUNER ボタンを押す



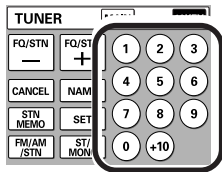
チューナーのメイン画面が表示されます。

3 [FM/AM/STN]を押す



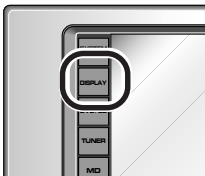
押すごとに切り変わります。STNを選択してください。

4 録音したい放送局を選ぶ



放送局の記憶のしかたや選局の詳しい方法は、「HTZ-7」付属の取扱説明書をご覧ください。

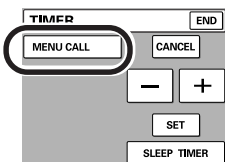
5 DISPLAY ボタンを押す



タイマー画面が表示されます。ディスプレイユニットが時間表示になります。

17:20

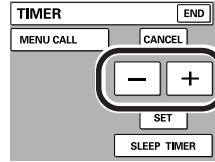
6 [MENU CALL]を押す



ディスプレイユニットがメニュー表示になります。

CLOCK ADJUST

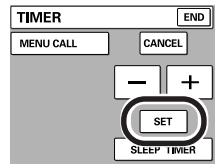
7 [+][-]を押し、TIMER RECモードにする



ディスプレイユニットに「TIMER REC」と表示されます。ディスプレイユニットに○・⊙が点灯します。

TIMER REC

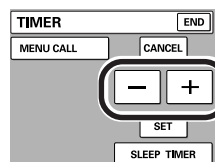
8 [SET]を押す



ディスプレイユニットの"時"の部分が点滅します。

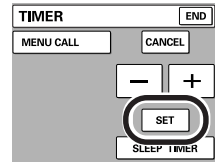
ON 7:00

9 [+][-]を押し、"開始時"を設定する



ON 7:00

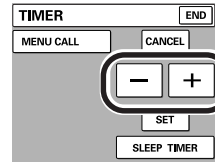
10 [SET]を押し、"開始時"を確定する



点滅が、"分"に移動します。

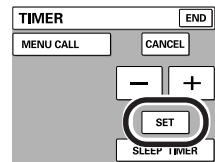
ON 7:15

11 [+][-]を押し、"開始分"を設定する



ON 7:15

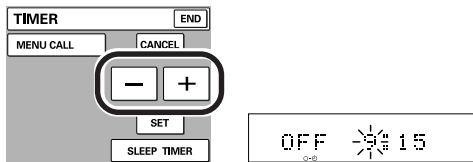
12 [SET]を押し、"開始分"を確定する



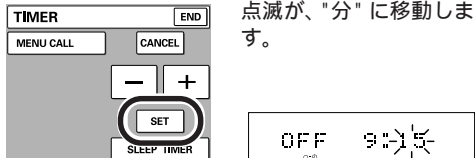
終了時間の設定になります。(1時間後の表示になります。)

OFF 8:15

13 [+][-] を押し、"終了時" を設定する

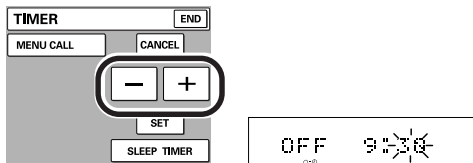


14 [SET] を押し、"終了時" を確定する

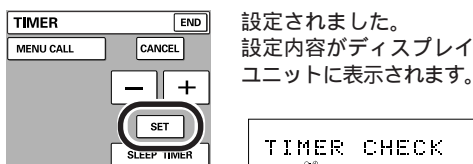


点滅が、"分" に移動します。

15 [+][-] を押し、"終了分" を設定する

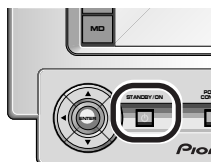


16 [SET] を押し、"終了分" を確定する



設定されました。
設定内容がディスプレイ
ユニットに表示されます。

17 STANDBY/ON ボタンを押す



本体の STANDBY インジケータが点灯し、スタンバイ状態になります。

メモ

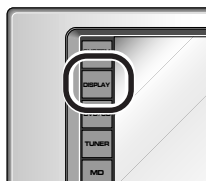
途中で[CANCEL]を押すと、1つ前の状態に戻ります。

注意

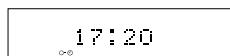
本体がスタンバイ状態になっていないと、タイマー録音は動作しません。
ウェイクアップタイマーとタイマー録音の開始時間が重なったときは、タイマー録音が優先されます。

タイマー録音の解除

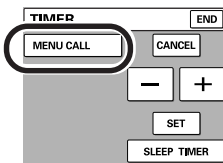
1 DISPLAY ボタンを押す



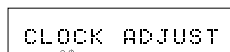
タイマー画面が表示されます。
ディスプレイユニットが
時間表示になります。



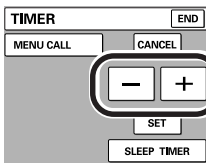
2 [MENU CALL] を押す



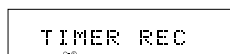
ディスプレイユニットが
メニュー表示になります。



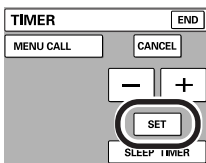
3 [+][-] を押し、TIMER REC モードにする



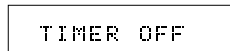
ディスプレイユニットに
「TIMER REC」と表示
されます。



4 [SET] を押す

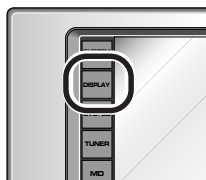


ディスプレイユニットに
「TIMER OFF」と表示
され、解除されます。

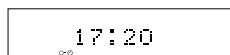


タイマー録音の設定を確認する

1 DISPLAY ボタンを押す



タイマー画面が表示され
ます。
ディスプレイユニットが
時間表示になります。



2 DISPLAY ボタンを押す

時計表示中に再びDISPLAYボタンを押すと、
タイマー録音の内容がディスプレイユニットに
表示されます。

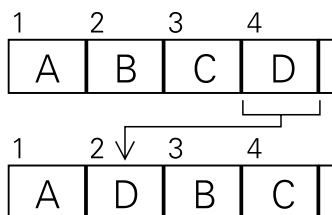
編集メニューについて

曲順を変えたり、1曲を2曲に分けるなどの編集をして、自分だけのオリジナルディスクづくりができます。次のような編集機能があります。

■ 曲を移動したり並べかえる (ムーブ機能) ⇒ 26 ページ

ある曲を好きな位置に移動して曲順をかえることができます。並べかえた後の曲番は自動的に付けかえられます。

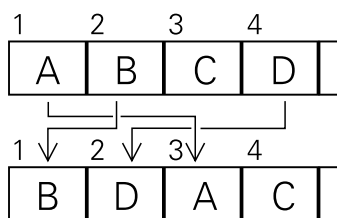
- 曲を移動する 26 ページ



4曲目のDを2曲目に移動する例。

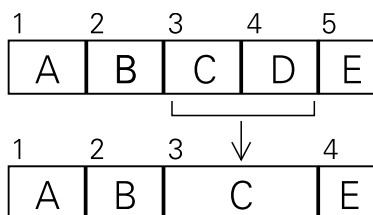
また、プログラム演奏で指定した順に曲を並べかえることもできます。並べかえた後の曲番は自動的に付けかえられます。

- 曲を並べかえる 27 ページ



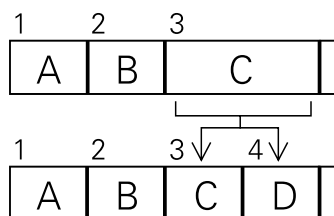
■ 連続している2つの曲をつないで1つの曲にする (コンバイン機能) ⇒ 28 ページ

C、Dの2曲を1曲にして新しくCとします。つないだ曲以降の曲番は、自動的に付け替えられます。



■ 1つの曲を2つに分ける (デバインド機能) ⇒ 27 ページ

1曲を途中から2つの曲に分けます。分けた曲以降の曲番は自動的に付け替えられます。

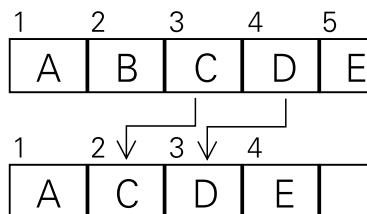


Cを2つに分けて新しくC、Dの2曲にした例。

■ 1曲または全曲を消す (イレース機能) ⇒ 29 ページ

消したい曲を指定するだけで、1曲をまるごと消すことができます。消した曲は曲名ごと消えます。また消した曲以降の曲番は自動的に付けかえられます。

- 1曲だけ消す 29 ページ



2曲目のBを消した例

- ディスクの全曲を消す 29 ページ
一度にディスク中の全曲を消すことができます。この場合は、ディスク名も消えます。

編集メニューについて

■ ディスクや曲に名前を付ける (ネーム機能) ⇨ 30 ページ

録音した曲に曲名を付けたり、録音したディスクにディスクの名前を付けたりすることができます。カタカナ、アルファベット(A～Z、a～z)数字、記号を100文字まで使用できます。

- 曲に名前を付ける 30 ページ
- ディスクに名前を付ける 31 ページ

■ 直前の編集をキャンセルして編集前の状態に戻す (アンドゥ機能) ⇨ 34 ページ

直前の編集をキャンセルして、編集前の状態に戻すことができます。(アンドゥ機能)

MDレコーダーの状態(動作モード)により選べる編集メニューが異なります。どのメニューが選択できるかは下表を参照してください。印の編集メニューが選べます。

	デバイト	コンバイン	ムーブ	プログラム ムーブ	イレース	オール イレース	アンドゥ
ディスクネーム表示か 総曲数表示で停止中	×	×	×	×	×		
曲番表示で停止中	×			×		×	
再生中	×	×	×	×	×	×	×
再生一時停止中				×		×	×
プログラムされていて 停止中	×	×	×		×	×	×

* 停止中の表示の切り換えは、21ページの「ディスプレイユニットの表示内容を切り換える」を参照してください。

メモ

CDからの曲やラジオ放送を録音したディスクがあるときに、以下の手順で、自分だけのオリジナルディスクが作れます。

1. デバイト機能で曲を分けたり、コンバイン機能で曲と曲をつなげて、ディスクの内容を整理する。
2. イレース機能でいらぬ曲、トーク、CMを消す。
3. ムーブ機能で曲を並べかえる。または、プログラムムーブ機能で、プログラムした順に曲を並べかえる。
4. ネーム機能で曲名、ディスク名を付ける。

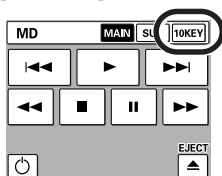
注意

誤消去防止状態(7ページ)になっているMDでは、編集メニューは使えません。編集メニューを使用する場合は録音可能状態にしてください。

曲を移動する（ムーブ機能）

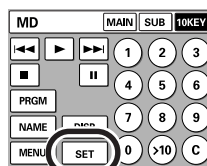
ある曲を好きな位置に移動して、曲順を並べかえることができます。

1 [10KEY]を押す



MDの10キー画面が表示されます。
MDの編集作業を行なう場合は、10キー画面で行なうと便利です。

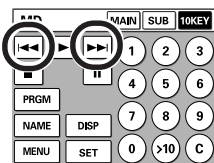
7 [SET]を押して曲を移動させる



「COMPLETE」の表示が出て曲が移動します。

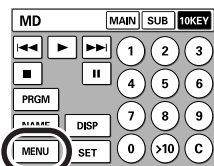
MD COMPLETE

2 [◀]または[▶]を押して移動する曲を選ぶ



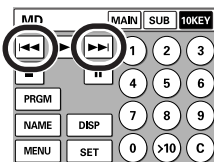
例として、8曲目を5曲目に移動する場合は、8を選ぶ。

3 [MENU]を押す



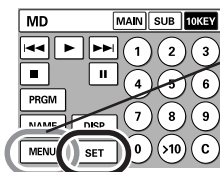
ディスプレイユニットに、編集メニューが表示されます。

4 [◀◀]または[▶▶]を押して「MOVE」を選ぶ



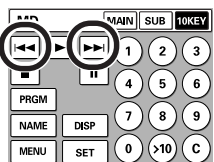
MD MOVE

5 [SET]を押す



確認の表示になります。
中止する場合は、[MENU]を押します。

6 [◀]または[▶]を押して移動先の曲番号を選ぶ



例として、8曲目を5曲目に移動する場合は、5を選択する。

MD MOVE 8→5?

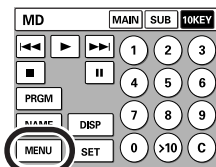
曲を並べかえる (プログラムムーブ)

プログラム演奏で指定した順に、曲を並べかえることができます。

1 並べかえたい順にプログラムする

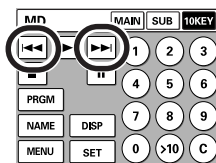
プログラムのしかたは、「聞きたい曲を聞きたい順番で聞く (プログラム演奏)」(P.13)をご覧ください。

2 [MENU]を押す



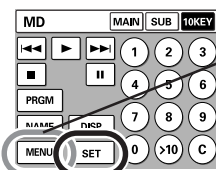
ディスプレイユニットに、編集メニューが表示されます。

3 [◀◀]または[▶▶]を押して「PGM MOVE」を選ぶ



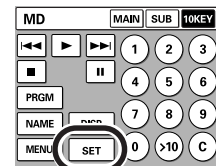
MD PGM MOVE

4 [SET]を押す



確認の表示になります。中止する場合は、[EDIT MENU]を押します。

5 [SET]を押して移動させる



「COMPLETE」の表示が出てプログラムした曲順に並べ換えます。

MD COMPLETE

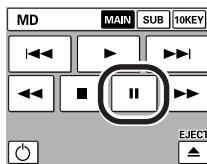
メモ

同じ曲を2回以上プログラムしているときは、うしろにプログラムされた内容が優先されます。プログラムしなかった曲は、プログラムムーブで並べかえた曲の後ろに移動します。

1つの曲を2つに分ける (デバインド機能)

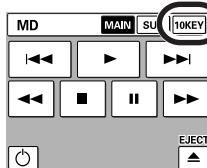
録音後に1つの曲を2つに分けます。これにより、新たに頭出しのための曲番を記録することができます。分けた曲以降の曲番は自動的に新しい曲番に変更され、分けた曲に曲名がついていたときは両方に同じ曲名がつきます。

1 演奏を聞きながら、曲の分けたいポイントで[||]を押す



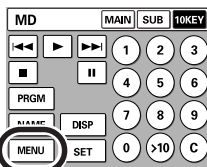
[||]を押したポイントで、曲は2つに分けられます。誤消去防止状態のMDは編集作業はできません。

2 [10KEY]を押す



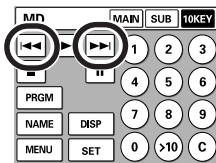
MDの10キー画面が表示されます。

3 [MENU]を押す

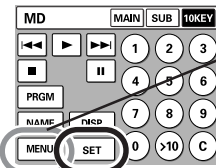


ディスプレイユニットに、編集メニューが表示されます。

4 [◀◀]または[▶▶]を押して「DIVIDE」を選ぶ

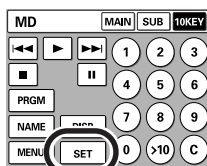


5 [SET]を押す



確認の表示になります。中止する場合は、[MENU]を押します。

6 [SET]を押して曲を分ける



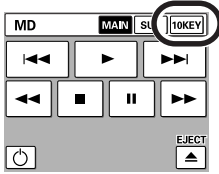
「COMPLETE」の表示が出て曲が分けられます。

MD COMPLETE

2つの曲を1つにつなぐ(コンバイン機能)

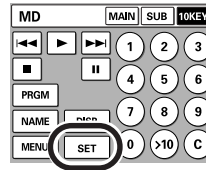
隣同士の曲をつなげて、1曲にまとめます。つないだ曲以降の曲番は自動的に新しい曲番に変更されます。

1 [10KEY]を押す



MDの10キー画面が表示されます。MDの編集作業を行なう場合は、10キー画面で行なうと便利です。

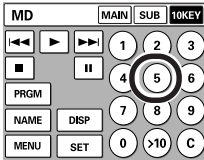
[SET]を押して曲をつなげる



「COMPLETE」の表示が出て曲がつながります。

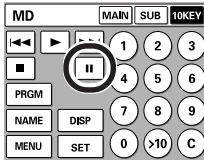
MD COMPLETE

2 つなぐ曲を選ぶ



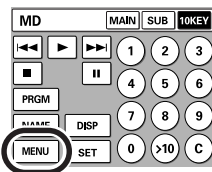
選んだ曲と、その直前の曲をつなぎます。例えば、4曲目と5曲目をつなぐ場合は、5曲目を選びます。

3 [II]を押す



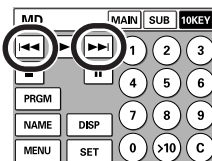
再生一時停止状態にします。

4 [MENU]を押す



ディスプレイユニットに、編集メニューが表示されます。

5 [I<<]または[>>I]を押して「COMBINE」を選ぶ



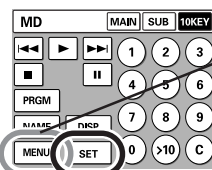
MD COMBINE

メモ

離れた曲をつなぎたいときは、ムーブ機能 (P.26) で曲を隣同士にさせてからコンバイン機能でつないでください。

つないだ曲に曲名がついているときは、前の曲(例では4曲目)の曲名がつきます。前の曲に曲名がついていないときは、後の曲の曲名がつきます。

6 [SET]を押す



確認の表示になります。中止する場合は、[MENU]を押します。

注意

デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲はつながりません。

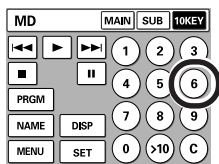
ステレオ録音した曲と、モノラル長時間録音した曲はつながりません。

15秒以下の短い曲はつながらないことがあります。

1 曲だけ消す (イレース機能)

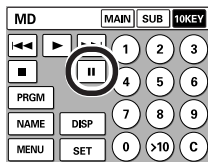
選択した曲番を消します。消した曲以降の曲番は、自動的に新しい曲番号に変わります。6 ページを参照して、MD の 10 キー画面にしてから操作を行ってください。

1 消去する曲番号を選ぶ



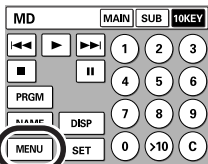
例として、6 曲目を消去する場合は、6 を押す。

2 [II]を押す



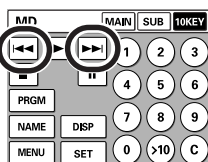
再生一時停止状態にします。

3 [MENU]を押す



ディスプレイユニットに、編集メニューが表示されます。

4 [I<<<]または[>>>]を押して「ERASE」を選ぶ

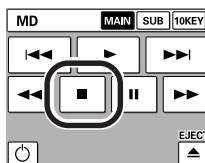


MD ERASE

ディスクの全曲消す (オールイレース)

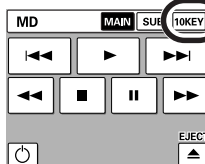
一度にディスクの全曲を消すことができます。この場合、ディスク名も消えます。

1 [■]を押す



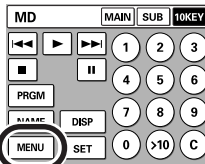
停止状態が、ディスクモードになります。

2 [10KEY]を押す



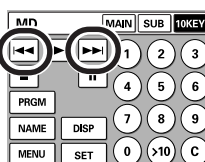
MD の 10 キー画面が表示されます。MD の編集作業を行なう場合は、10 キー画面で行なうと便利です。

3 [MENU]を押す



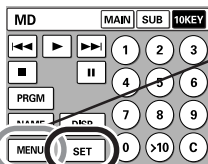
ディスプレイユニットに、編集メニューが表示されます。

4 [I<<<]または[>>>]を押して「ALL ERASE」を選ぶ



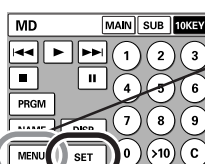
MD ALL ERASE

5 [SET]を押す



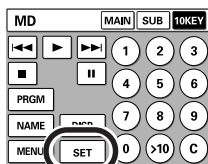
確認の表示になります。中止する場合は、[MENU]を押します。

5 [SET]を押す



確認の表示になります。中止する場合は、[MENU]を押します。

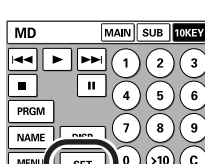
6 [SET]を押して曲を消す



「COMPLETE」の表示が出て、選択した曲が消去されます。

MD COMPLETE

6 [SET]を押して曲を消す



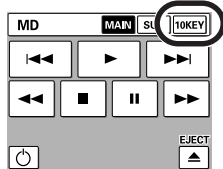
「COMPLETE」の表示が出て、ディスクの全曲が消去されます。

MD COMPLETE

曲に名前を付ける (トラックネーム)

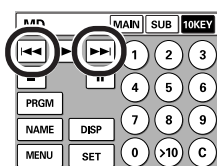
録音した曲に名前を付けることができます。1つの名前には、カタカナ、アルファベット(A～Z、a～z)、数字、記号を100文字まで使用できます。

1 [10KEY]を押す



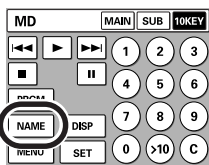
MDの10キー画面が表示されます。

2 停止中に◀◀または▶▶を押して、名前をつける曲を選ぶ

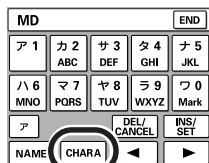


例として5曲目に"FMニッポン1"と名前をつける場合は、5を押す。

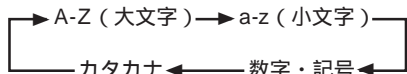
3 [NAME]を押す



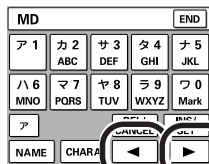
4 [CHARA]を押して文字種を選ぶ



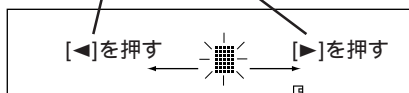
押すごとに、以下のように入力できる文字の種類が切り変わります。



5 文字入力を開始する位置を決める

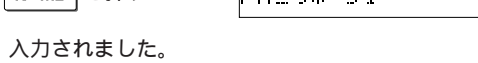
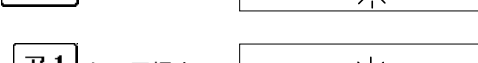
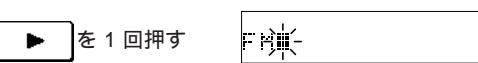
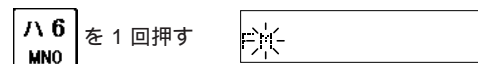
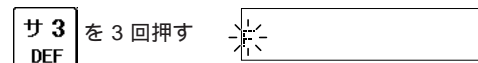


◀を押すと左へ移動します
▶を押すと右へ移動します

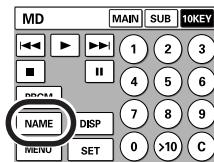


6 入力する

例:FMニッポン1と入力します。



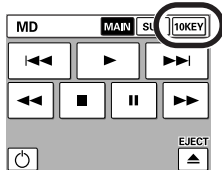
7 [NAME]を押して登録する



ディスクに名前を付ける (ディスクネーム)

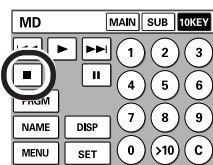
録音・再生用MDにディスク名をつけることができます。
カタカナ、アルファベット(A～Z、a～z)、数字、記号
を100文字まで使用できます。

1 [10KEY]を押す



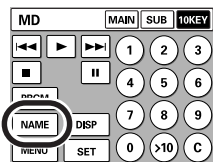
MDの10キー画面が表示されます。

2 [■]を押す



総曲数表示の停止にします。

3 [NAME]を押す



4 ディスク名を入力する

ディスク名の入力のしかたは、「曲に名前を付ける(トラックネーム)」の手順4、5、6、7と同じように操作してください。

注意

トラックネームは、再生中や録音中にも入力することができます。この場合、トラックネームを入力していてネームの入力が完了する前に次の曲になってしまったときは、入力した文字までは有効です。再生や録音が終わってからつづきを入力してください。

1枚のMDには最大255曲まで曲を入れることができますが、入れられる文字数は1,792文字のため、それを越えると入力できません。

ディスク名や曲名を修正する

文字を消すには

1 文字入力状態にする

- 曲名 30 ページ手順 1 から 3
- ディスク名 31 ページ手順 1 から 3

2 消去する文字を指定する

点滅部分を消去する文字の位置まで移動させる。
[◀]を押すと左へ移動します
[▶]を押すと右へ移動します

[◀]を押す [▶]を押す

3 [DEL/CANCEL]を押す

4 [NAME]を押して登録する

文字を追加するには

1 追加する文字位置まで移動させる

点滅部分を追加する文字位置まで移動させます。
[◀]を押すと左へ移動します
[▶]を押すと右へ移動します

[◀]を押す [▶]を押す

2 追加する文字を入力する

例えば、"BET"を"BEST"にする場合は、[マ7 PQRS]を4回押します。

3 [INS/SET]を押す

文字が追加されます。

4 続けて文字を追加する場合は、手順2と3を繰り返し行ないます。

5 [NAME]を押して登録する

文字入力パターン

MD				END
ア 1	カ 2 ABC	サ 3 DEF	タ 4 GHI	ナ 5 JKL
ハ 6 MNO	マ 7 PQRS	ヤ 8 TUV	ラ 9 WXYZ	ワ 0 Mark
ア		DEL/ CANCEL	INS/ SET	
NAME	CHARA	◀	▶	

CHARA を 1 回押したとき

A (アルファベット大文字モード)

各キーは押すごとに以下のように入力文字が変わります。

キー	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目	6 回目
ア 1	無し					
カ 2 ABC	A	B	C	戻る		
サ 3 DEF	D	E	F	戻る		
タ 4 GHI	G	H	I	戻る		
ナ 5 JKL	J	K	L	戻る		
ハ 6 MNO	M	N	O	戻る		
マ 7 PQRS	P	Q	R	S	戻る	
ヤ 8 TUV	T	U	V	戻る		
ラ 9 WXYZ	W	X	Y	Z	戻る	
ワ 0 Mark	空白(スペース)	.	,	/	戻る	
ア	無し					

CHARA を 2 回押したとき

a (アルファベット小文字モード)

各キーは押すごとに以下のように入力文字が変わります。

キー	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目	6 回目
ア 1	無し					
カ 2 ABC	a	b	c	戻る		
サ 3 DEF	d	e	f	戻る		
タ 4 GHI	g	h	i	戻る		
ナ 5 JKL	j	k	l	戻る		
ハ 6 MNO	m	n	o	戻る		
マ 7 PQRS	p	q	r	s	戻る	
ヤ 8 TUV	t	u	v	戻る		
ラ 9 WXYZ	w	x	y	z	戻る	
ワ 0 Mark	空白(スペース)	.	,	/	戻る	
ア	無し					

CHARA を 3 回押したとき

数字モード

各キーは押すごとに以下のように入力文字が変わります。

キー	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目	6 回目
ア 1	1					
カ 2 ABC	2					
サ 3 DEF	3					
タ 4 GHI	4					
ナ 5 JKL	5					
ハ 6 MNO	6					
マ 7 PQRS	7					
ヤ 8 TUV	8					
ラ 9 WXYZ	9					
ワ 0 Mark	0	空白 (スペース)	!	"	#	\$
	%	&	'	()	*
	+	,	—	.	/	:
	;	<	=	>	?	@
	-	,	戻る			
ア	無し					

CHARA を 4 回押したとき

ア (カナモード)

各キーは押すごとに以下のように入力文字が変わります。

キー	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目	6 回目
ア 1	ア	イ	ウ	エ	オ	戻る
カ 2 ABC	カ	キ	ク	ケ	コ	戻る
サ 3 DEF	サ	シ	ス	セ	ソ	戻る
タ 4 GHI	タ	チ	ツ	テ	ト	戻る
ナ 5 JKL	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	戻る
ハ 6 MNO	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	戻る
マ 7 PQRS	マ	ミ	ム	メ	モ	戻る
ヤ 8 TUV	ヤ	ユ	ヨ	戻る		
ラ 9 WXYZ	ラ	リ	ル	レ	ロ	戻る
ワ 0 Mark	ワ	リ	ン	、	。	—
ア	戻る	ア	ウ	エ	オ	
	ヤ	ユ	ヨ	ツ	空白(スペース)	戻る

最後に行った編集操作を取り消す (アンドゥ機能)

アンドゥ機能とは

最後に行った編集作業を取り消し、その前の MD の状態に戻します。

アンドゥが有効な編集操作

- ムーブ機能
- プログラムムーブ機能
- デバインド機能
- コンバイン機能
- イレース機能
- オールイレース機能
- 名前の入力、変更、消去
- オーバーライト録音で消去してしまった曲

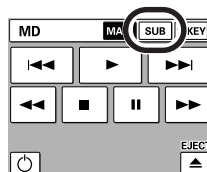
アンドゥが無効な編集操作

編集後に以下の操作をすると、取り消すことができなくなります。その場合、「CAN'T UNDO」と表示されます。

- MD を取り出したとき
- MD レコーダーの電源をオフにしたとき
- 停電したとき
- 他の編集操作をしたとき
- 録音の操作をしたとき
- アンドゥ操作をした後

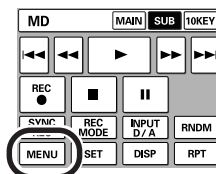
アンドゥ機能の操作方法

1 [SUB]を押す



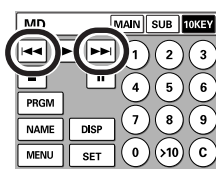
MD の 10 キー画面が表示されます。

2 [MENU]を押す



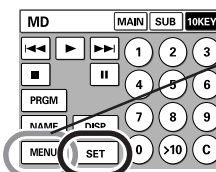
ディスプレイユニットに、編集メニューが表示されます。

3 [◀◀]または[▶▶]を押して「UNDO」を選ぶ



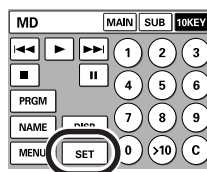
MD UNDO

4 [SET]を押す



確認の表示になります。中止する場合は、[EDIT MENU]を押します。

5 [SET]を押してアンドゥを行なう



「COMPLETE」の表示が出て、アンドゥを行ないます。

MD COMPLETE

こんな表示が出たときは

表 示	意 味	このようにしてください
ノー ディスク NO DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが入っていない。 ● MDのデ - タが読めない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● MDを入れる。 ● MDをもう一度入れ直す。
ディスク エラー DISC ERR *	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクにキズがついている。 ● TOCがMDに書き込まれていないか、デ - タに異常がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● MDをもう一度入れ直す。 ● 他のMDと取りかえる。
ディスク ? DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● デ - タに異常がある。規格外のMDである。 ● 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていないか読めない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他のMDと取りかえる。 ● オ - ルイレ - スをし、録音をやり直す。
ディスク フル DISC FULL	<ul style="list-style-type: none"> ● MDに録音できる空きがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の録音用MDと取りかえる。
ブランク ディスク BLANK DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● 何も記録されていない。 (音楽もディスク名も記録されていない。) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生するときは、録音されたMDと取りかえる。
プレイバック エムディ Playback MD	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生専用MDに録音や編集をしようとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音用MDと取りかえる。
プロテクト PROTECTED トラック フル TOC FULL	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが誤消去防止状態になっている。 ● 曲番や文字情報(ディスク名/曲名など)を登録する空きがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 誤消去防止状態をもとに戻す。 ● 他の録音用MDと取りかえる。
キャント レコ CAN'T REC	<ul style="list-style-type: none"> ● ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● オールイレースをし、録音をやり直す。 ● 録音をやり直すか、MDをかえてみる。
キャント エディット CAN'T EDIT	<ul style="list-style-type: none"> ● 編集できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 曲の停止位置を変えて、編集し直す。
ネーム フル NAME FULL	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスク、曲名の合計が1792文字をこえているか、1つの名前が100文字をこえている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスク名/曲名を短くする。
デフェクト DEFECT	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクにキズがあるため、録音がとぎれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の録音用MDと取りかえる。
キャント コピー CAN'T COPY	<ul style="list-style-type: none"> ● コピ - 禁止のものから録音しようとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● コピ - 可能なもの(一般のCDなど)に換える。(表示が消えた場合は、そのままお使いいただけます。)
ノット オーディオ NOT AUDIO	<ul style="list-style-type: none"> ● オ - ディオ用でないデ - タが記録されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● MDを取りかえる。
ユートック エラー UTOER *	<ul style="list-style-type: none"> ● ショックやディスクのキズでTOC情報が正しく作成できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切って、もう一度書き込みをしてみる。(書き込み中はショックを与えないで下さい。)
トック エラー TOC ERR *	<ul style="list-style-type: none"> ● 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていないか読めない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他のMDと取りかえる。 ● オ - ルイレ - スをして録音をやり直す。
テンプ オーバー TEMP OVER	<ul style="list-style-type: none"> ● 温度が高くなりすぎた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切ってしばらく休ませる。
ディン アンロック DIN UNLOCK	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタル入力の際に正常な信号が入力されない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタル入力端子に正しく接続されているか確認する。
エスアイオウ エラー SIO ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが正しく動いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切って再度入れ直してみる。

* は数字や記号です。

故障? ちょっと調べてください

- 故障かな...? と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。下の項目をチェックしても直らないときは、お近くのバイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。

症 状	原因と思われること	処 置
録音ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● MD が誤消去防止状態になっている。 ● 再生専用 MD を入れている。 ● TOCがいっぱいになっている。(録音、編集を繰り返すと、このようになることがあります。) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 誤消去防止つまみを閉じる。 ● MD を入れかえる。 ● 全曲消去を行えば新たに録音できます。
音がでない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグがはずれている。 ● すべてのコードが完全に接続されていない。 ● 入力切換が正しく選択されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグを正しく接続する。 ● 接続のしかたを参照して、正しく接続する。 ● 聞きたい機器を選択する。
モノラルで録音されてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ● モノラル長時間モードになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音モードをステレオモードにする P.19
MDを入れても“NO DISC”と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクにキズが付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● MD を入れかえる。
音がとぎれる。	<ul style="list-style-type: none"> ● MD レコーダーが結露している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 時間程待ってから再生する。
短い曲を消しても録音の残り時間が増えない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 12 秒以下の短い曲は曲として数えないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 故障ではありません。
録音時間と残り時間をたしても最大録音可能時間にならない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 最小録音単位が2秒のため、これに満たない曲でも2秒のスペースを使っているので合わないことがある。 ● ディスクにキズがあり、録音不可の部分がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 故障ではありません。 ● MD を入れかえる。
コンバイン編集で曲と曲をつなげない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音、編集をくり返したディスクでこのようになることがある。 ● デジタル録音とアナログ録音の曲をつなごうとしている。 ● ステレオ録音した曲とモノラル録音した曲をつなごうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 故障ではありません。 ● デジタルと、アナログはつなげません。 ● ステレオ録音した曲とモノラル録音した曲はつなげません。

- テレビを近くに設置した場合に、映像の乱れが生じることがあります。テレビで室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは屋外アンテナを使用するかテレビのアンテナケーブルを本機より離して設置してください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

日ごろのお手入れ

次のような場所への設置は避けてください

直射日光のあたる所
湿気の多い所や風通しの悪い場所
極端に暑い所や寒い所
振動のある所
ほこりの多い所
油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）

上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

通気孔をふさがない

毛足の長い敷物やベッド、ソファの上などで使用したり、本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

製品のお手入れについて



通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを抜きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。

また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

結露について



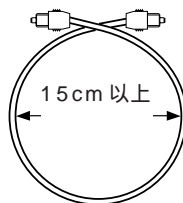
本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。このような場合には1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

音のエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

光ケーブルの取り扱い上の注意



破損する恐れがありますので、光ファイバーケーブルは急な角度に折り曲げたりしないでください。特にラックなどに入れるときなど輪にして保管するときは、直径が15 cm以上になるようにしてください。また、接続するときは奥まで確実に差し込み、不完全な接続にならないようにしてください。

保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談は

お買上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼される時

もう一度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

保証期間中の修理

万一、故障が生じたときは保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。お近くのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定にしたがって、修理いたします。

連絡していただきたい内容

- ご住所、お名前、電話番号
- 製品名、型番、ご購入日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

保証期間が過ぎているときの修理

最寄りのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

著作権について

- 放送やレコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

社団法人 日本音楽著作権協会（JASRAC・音権協）

本部	TEL 03(3481)2121	(大代表)
北海道支部	TEL 011(221)5088	(代表)
盛岡支部	TEL 019(652)3201	(代表)
仙台支部	TEL 022(264)2266	(代表)
長野支部	TEL 026(225)7111	(代表)

大宮支部	TEL 048(643)5461	(代表)
上野支部	TEL 03(3832)1033	(代表)
東京支部	TEL 03(3562)4455	(代表)
西東京支部	TEL 03(3232)8301	(代表)
東京イント ンパクト支部	TEL 03(5286)1671	(代表)
立川支部	TEL 042(629)1500	(代表)
横浜支部	TEL 045(662)6551	(代表)
静岡支部	TEL 054(254)2621	(代表)
中部支部	TEL 052(586)7590	(代表)
北陸支部	TEL 076(221)3602	(代表)
京都支部	TEL 075(251)0134	(代表)
大阪支部	TEL 06(244)0351	(代表)
大阪北支部	TEL 06(244)7077	(代表)
神戸支部	TEL 078(322)0561	(代表)
中国支部	TEL 082(249)6362	(代表)
四国支部	TEL 087(821)9191	(代表)
九州支部	TEL 092(441)2285	(代表)
鹿児島支部	TEL 099(224)6211	(代表)
那覇支部	TEL 098(863)1228	(代表)

(1998年8月現在)

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

ミニディスクレコーダー：HTZ-MD7

記録方式 磁界変調オーバーライト方式
再生方式 非接触光学式
サンプリング周波数
..... 32.0 kHz, 44.1kHz, 48.0 kHz
再生周波数特性 20 Hz ~ 20 kHz
ワウフラッター 測定限界以下

電源電圧 AC100V、50/60Hz
消費電力(電気用品取締法) 14W
スタンバイ時消費電力 2.2W
外形寸法 320(幅)×89(高さ)×274(奥行)mm
本体質量 3.1kg

付属品

保証書 1
取扱説明書 1
安全上のご注意 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 1
光ファイバーケーブル 1

省エネルギー設計製品

本製品は、電源オフ時(スタンバイ時)の消費電力を抑えた設計となっております。

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

お客様相談センター

カステロ/カバレッジーション製品に関するお問合せ窓口 ☎0070-800-818111

家庭用オーディオ/ビデオ製品に関するお問合せ窓口 ☎0070-800-818122

カタログのご請求に関する窓口 ☎0070-800-818133

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

愛情点検



長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ・電源コードにさけめやひび割れがある。
- ・電気が入ったり切れたりする。
- ・本体から異常な音、熱、臭いがする。



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

高調波ガイドライン適合品

この取扱説明書は再生紙を使用しています。